

鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画にかかるアンケート調査
市独自設問の意図と計画への反映について

【今回の調査のポイント】

- 高齢者自身が支え手となって活躍することができる地域社会づくり
- 主体的な健康づくりの推進と効果的な介護予防の推進
- 高齢者のみ世帯の孤独・孤立の防止、老老介護など介護者の負担軽減
- デジタル技術の普及やコロナ禍など環境変化に対応する施策の検討

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

設問番号	項目	設問意図	計画への反映
問4 (19)	一日中だれとも話さないことがあるか	一人暮らし高齢者や日中一人になる高齢者などが孤独・孤立の実態を把握する。	孤立しがちな高齢者が地域社会とのつながりをもつことができるための取組を検討する。
問5 (1) ①～③	日常生活におけるパソコン・スマートフォンの利用状況	高齢者の日常生活における情報通信機器の活用状況や今後の利用意向を把握し、活用に向けた条件や課題等を分析する。	高齢者福祉施策における情報通信機器活用の可能性や効果的な取組を検討する。
問6 (4) ①～④	有償ボランティアへの参加状況・参加意向	高齢者の生活を支えるための有償ボランティアへの参加状況や参加意向、その内容及び頻度、エリア等を把握する。また、在宅介護実態調査から得られる支援サービスの利用状況(問9)や支援ニーズ(問10)と比較する。	高齢者自身が支え手として活躍する地域社会づくりに向けて、有償ボランティアによる支援・サービスの展開を検討する。
問6 (5) 問7 (9)	新型コロナウイルス感染拡大時期における変化	コロナ禍における高齢者の心身の健康や外出頻度、地域活動への参加、知人と会う頻度を把握し、前回調査結果との比較分析に活用する。	介護予防や外出促進、つながりの創出等において、コロナ禍の影響を踏まえた対策について検討する。
問8 (2)	健康づくりや介護予防への取り組み状況・意向	高齢者の健康づくりや介護予防の取組状況や意向、取組内容を把握し、健康状態や疾病の状況、生活期機能評価(リスク判定)等との関連を分析する。 (問6(1)とは別に、個人での実施を含めた取組状況や意向についても把握する)	健康に対する意識醸成と健康づくり・介護予防活動の促進のための効果的な施策を検討する。また、国保データベース分析と併せ、地域における主体的な健康づくり活動での効果的な取組の参考とする。
問8 (3)	「フレイル」の認知度	前回調査結果と比較し、フレイルの認知状況を把握する。	フレイルのさらなる周知を進めるとともに、フレイル予防に効果的な取組を検討する

設問番号	項目	設問意図	計画への反映
問9(3) ①	成年後見制度の認知度、利用意向	前回調査結果と比較し、成年後見制度の認知状況及び利用意向の変化を把握する。	成年後見制度のさらなる周知を進めるとともに、利用促進に向けた取組を検討する。
問10(1)	地域包括支援センターの認知度	前回調査結果と比較し、地域包括支援センターの認知状況を把握する。	地域包括支援センターのさらなる周知を進めるとともに、相談しやすい環境・体制づくりに向けた取組を検討する。

【在宅介護調査】

設問番号	項目	設問意図	計画への反映
問11	移送サービスの利用について	移送サービスの利用意向について、目的、頻度、エリアを把握する。	移送サービスの展開にあたり、利用ニーズに応じたサービス提供および体制の確保に向けた検討を行う。
問12	今後の生活の場	どのような暮らし(介護)を希望しているかを把握する。前回調査結果と比較し、変化を分析する。	希望する暮らし(介護)の実現に向け、医療・介護連携など在宅生活の継続に必要な支援や施設整備等について検討する。
問17	新型コロナウイルス感染拡大時期における変化	コロナ禍における介護保険サービスの利用量の変化を把握し、給付実績の変化におけるコロナ禍の影響を分析する。	計画期間の介護保険サービス見込量の推計において、コロナ禍の影響を考慮する。
問23	心配事や愚痴を聞いてくれる人の有無	心配事や愚痴を聞いてくれる人の状況から介護者の孤独・孤立の状況を把握し、その傾向を分析する。	孤独・孤立の状況にある介護者に対する支援や地域とのつながりの創出に向けた取組を検討する。
問24	何かあったときの介護者の相談相手	家族や友人・知人以外の相談相手から介護者の孤独・孤立の状況や地域とのつながりを把握し、その傾向を分析する。	介護者が不安や困りごとなどを気軽に相談できる体制づくりに向けた取組を検討する